

学校経営方針

【定山溪小学校 学校教育目標】

考える子ども（追求）… 日常の事象に目を向け、体験を通して追求していく子
心の広い子ども（親切）… 誰にでも親切にし、思いやりをもって接しようとする子
助け合う子ども（協力）… 自他のよさを認め合い、共に伸びていこうとする子
丈夫な子ども（健康）… 自分の意志で、粘り強く頑張る子

【本年度重点目標】

温かな心で認め合い、自ら考え取り組む子の育成を目指して

※要確認

美しく豊かな自然環境に恵まれた定山溪で育まれてきた本校の歴史と伝統、たゆまぬ教育実践とその成果の積み上げのもと、明るい未来を築き、自らの力でたくましく生き抜く子どもを育てていく。また、学校を開き、地域との一層の連携を深め、協力基盤を背景に郷土を愛する心を培い、信頼される学校づくりを通して学校目標の具現化に努める。

本校は、児童数が少なく全学級が複式学級となり、昨年度に特別支援学級情緒学級を開設する現状で、子どもたちは、社会や集団との多様な関わりや経験が少ないために、物事の見方や考え方が固定的になりがちである。互いに望ましい人間関係を築き、自ら考え行動しながら、より良い生活を送る力を身に付けることは、この先大きな集団、広い社会へと未来を広げていく子どもたちにとって間違いなく必要である。そのことから、他者との受容的な温かい関わりの中で、自信をもって自分の考えを表現し、深め、仲間と共に高め合っていくことの大切さや楽しさを感じとっていく子どもの姿を願っている。

【重点目標に迫る四つのプラン】

義務教育学校開校に向けた9年間を通した目標の共有と組織力の発揮※変更

1. のびやかプラン

学ぶ力の育成：定山溪スタイル

- ◇確かな学力の育成（小中一貫した教育）
- ◇指導力の向上（授業実践と校内研究）
- ◇教育課程の確立と実施（コロナ禍継続）

2. あったかプラン

自分が大切にされている
豊かな心の育成（教育長強調）

- ◇道徳教育の充実と実践
- ◇仲間意識や連帯感の育成と挨拶の励行
- ◇温かい支援と自己肯定感の育成

3. すこやかプラン

健やかな体の育成
教職員の働き方改革を

- ◇歯と口の健康教育の継続と充実
- ◇運動意欲・体力の向上・食指導の充実
- ◇働き方改革推進と感染予防対策継続

4. きらめきプラン

信頼される学校・特色ある学校教育
小中一貫した教育の取組定着

- ◇校種間や家庭地域連携：安心・安全
- ◇雪・環境・読書・ふるさと札幌
- ◇義務教育学校開校に向けた取組

学校評価による成果の検証と改善

【重点目標の具体化】

1. のびやかプラン … 学ぶ力の育成 ～定山溪スタイルを意識して～

子どもたちが将来社会に出て、新しい時代を生き抜くために必要な資質や能力を育みます。

◇確かな学力の育成

- ・基礎的基本的な知識及び技能の定着のための、日常的な取組と積み上げ
- ・聞き方、話し方や家庭における学習などの学習態度や学習習慣の定着
- ・体験的な学習や言語活動の重視

◇指導力の向上

- ・定山溪スタイルを大切にし、課題探究的な学習を取り入れた授業の充実と小中一貫した教育の実践
- ・「分かる・できる・楽しい」授業づくりの追究
(※複式授業を効果的に進めるための授業形態等の工夫や改善)
- ・校内研究を通した、全員で学び合う意識や体制の重視

◇教育課程の確立と実施

- ・新指導要領の完全実施に伴う、教育課程の確立 (コロナ禍の対応から以前の取組を再吟味)
- ・道徳・外国語や、総合的な学習の時間など、単元を新・再編成した教科領域の実施と改善

2. あったかプラン … 豊かな心の育成 ～認め合う心を大切に～

多様な集団での活動と様々な人との関わりを通して、自他を大切にしようとする心を育みます。

◇道徳教育の充実

- ・道徳の授業を要として、発達段階に応じた目指す姿を意識した指導
- ・**挨拶を大切にしたい心の育成(礼儀とけじめ)：小中一貫した教育の取組(グランドデザイン)**
- ・相手を思いやる心の育成 (いじめ防止・いじめ早期発見及び初期対応の共通理解実践)

◇仲間意識や連帯感の育成 (コロナ禍から現在の教育活動の精選)

- ・学級活動やたてわり活動、全校活動を通して子ども同士が関わり合う活動の推進
- ・学級活動やたてわり活動、全校活動における、役割を明確にした自己有用感の育成
- ・楽しさを実感し規律を守り協力し合うことの重視

◇温かい支援と自己肯定感の育成

- ・子どものよさや可能性を認め、励まし、支える関わり
- ・学校全体での子どもの共通理解と具体的な支援の共有

3. すこやかプラン … 健やかな体の育成 ～自己肯定感を育むために～

心身の健康の保持増進は、「学ぶ力」「豊かな心」を育むためにも大切であると捉え、自分の健康を守る力を育みます。また、新しい学校の生活様式に継続して取り組み、全校で新型コロナウイルス感染予防対策を図ります。

◇健康教育の継続と充実

- ・「歯と口の健康づくり」の継続的な実践と発展
- ・家庭と連携した生活習慣の確立

◇運動意欲・体力の向上・食指導の充実

- ・基礎的な運動能力を高めるための取組の工夫
- ・日常的な運動につながるような環境づくりの工夫（縄跳びチャレンジの実践）
- ・全校給食等の場を活用した、食指導の充実
- ・農園活動や調理活動を通した、食に対する関心の向上

◇働き方改革への各自の具体的な取り組みと新型コロナウイルス感染予防対策

- ・出勤時刻の確立と毎日の健康状態の確認や三密を避ける取組を実施する。
- ・感染者に対する誹謗中傷は絶対にせず、この窮地を乗り切っていく生きる力を育てていく。

4. きらめきプラン … 信頼される学校・特色ある学校教育 ～小中一貫した教育～

子どもたちにとって様々な人との関わりは、多くの学びを得ることができます。地域ならではの特色を生かし、責任ある教育活動を積極的に推進します。

◇小中一貫した教育（グラウンドデザイン）を意識した校種間や家庭・地域との連携：安心・安全

- ・地域を生かし、連携した教育活動の工夫
- ・人材としての教育力の積極的活用：人材バンクの確立
- ・中学校との目標の共有（重点目標・学び方の共有）
- ・各種便りやホームページ等での情報発信
- ・参観懇談会や教育説明会の充実～子どもの姿で安心感と信頼感を～対話の重視
- ・活きて働く防災教育、安全教育の充実

◇雪・環境・読書

- ・冬を楽しむ活動の充実（雪）
- ・美しい自然を守り育てようとする心の育成（環境）
- ・生涯にわたる学びの基盤として捉えた、読書意欲の喚起（読書）
- ・地域に愛着をもち、地域を大切にする活動の工夫（ふるさと札幌）

◇義務教育学校開設に向けた取組の推進（小中の義務教育学校コーディネーター：担当教諭を中心に）

- ・義務教育学校開校にむけた行事の精選や教職員間の交流重視
- ・校内外の環境整備や新校舎へのモデルプランの計画
- ・小中一貫した教育グラウンドデザイン（愛する心：新設）

目指す教職員の11の姿

- 1) 「自分がこの学校の教育を」という意識をもった教職員
- 2) 自己研鑽に励み、互いに切磋琢磨し合う教職員
- 3) 「全校の担任」を意識し、校務も協力し合う教職員
- 4) 子どもと共に活動し、さわやかな汗を流す教職員
- 5) 子どもと共に、「喜び、悲しみ、楽しみ、苦しみ」を共有できる教職員
- 6) 身の回りの整理整頓に心掛け、学習環境に気を配る教職員
- 7) 地域性を理解し、連携を深める教職員
- 8) 保護者と誠意（言動・態度・服装）をもって語り合い、傾聴できる教職員
- 9) 明るい挨拶と笑い声が聞こえる教職員
- 10) 決めたことは、決めたように、決めた日までに実行・提出する教職員
- 11) 教育公務員としての自覚をもった教職員

◆「子どもは、先生（職員）の姿を見て育つ」
 ◆「子どもの目には、職員はひとりの大人のモデルとして映っている」
 故に、私たち教職員は、次のことを自覚し
子どもたちの前に11の姿で立つことを忘れてはならない。